

# 第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案

菊池市立菊池北中学校

教諭 吉里 泰志

1. 単元名 人権学習（平和学習 ～原爆投下から考える戦争と平和～）

## 2. 単元の目標

- ・原爆投下の日時や要因などについて知る。
- ・原爆投下について自分の考えを深め、戦争や平和について多面的に考える。
- ・平和な生活や世界を実現するために自分自身にできることを考え表現する。
- ・平和な生活や世界を希求する態度を養う。

## 3. 単元について

### (1) 教材観

ウクライナ情勢や中東情勢など不安定な世界情勢の中で私たちは生きており、私たちが住んでいる日本も決して他人事ではない。一方で、この世界情勢にどれだけの人たちが関心を持っているのだろうか。日々、不安定な世界情勢がテレビや新聞で報道されていたとしても、携帯・スマホ、タブレットの画面に写るものは、自分好みの記事や画像、動画が主である。自ら知ろうとしなければ、昨今の世界情勢の情報を得られない状況にあり、平和な世界について考える機会も少ないだろう。

一人ひとりが「戦争とは何か」「平和とは何か」「平和を希求していく行動とは何か」を考える機会を設定することは重要なことではなかろうか。

また、戦後から約80年の月日が流れ、戦争体験が確実に風化している。平和学習を行うことは、戦争に関する歴史を学び直したり、新たな事実を知ったりする機会にもなり、戦争体験を風化させないことにもつながる。さらに、それらの歴史の延長線上に、今を生きる私たちの生活があり、昨今の世界情勢にもつながっていることから、これからの自分・地域・日本・世界の平和を希求していく機会になる。そして、これらの学習を通して、想像力や判断力、他者を思いやる力、他者と協力することの大事さ、家族愛などを学ぶこともできると考える。

### (2) 生徒観

本学級は29名が在籍している。小学校6年生の修学旅行時に長崎を訪れ、原爆資料館等を巡って平和学習を行っている。今回の平和学習に向けて生徒の実態を把握するために、事前にアンケートを実施した。以下は、主な質問項目の回答状況である。（回答数は28人）

質問項目	回答
・これまでに平和学習でどんなことを学んできましたか。	・戦争・戦争の恐ろしさ・原爆の被害 ・命の尊さ・部落差別・水俣病
質問項目	正解者
・広島に原爆が落とされたのはいつですか。	1人
・長崎に原爆が落とされたのはいつですか。	3人

質問項目	
・原爆や核兵器について、どう思いますか。自分の考えに近いものに○をつけなさい。	
選択肢	人数
ア：どんな理由があっても、原爆や核兵器を作ったり、使用したりしてはいけない。	28人
イ：戦争中であれば、原爆や核兵器で攻撃されても仕方ない。	0人
ウ：簡単に戦争が起こらないようにするために、原爆や核兵器は必要だ。	0人
質問項目	
・平和な社会を築いていくために、私たちはどんなことができますか。	
回答	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・二度と戦争をしないようにする。・原爆や核兵器の使用、作成の禁止。・平和な尊さを学ぶ。</li> <li>・戦争のことを伝え続ける。・人を許す心を持つ。・思いやりの心を持つ。・他国の人と交流する。</li> <li>・差別や偏見など身近なところから改善し、みんなが良い生活ができるようにする。</li> </ul>	

小学校6年生時に平和学習をしているが、広島・長崎の原爆投下の日時を正確に答えられる生徒がほぼいなかったことから、原爆に関する史実をもう一度学び直す必要がある。また、これまでの平和学習で戦争被害や悲惨さを感じている生徒が多いことから原爆や核兵器に強い拒否感を抱えていることが分かった。さらに、平和学習の内容に部落差別や水俣病問題を挙げていたり、身近な問題も考えていく必要があると考えていたりしていることから、戦争が他人事ではなく自分事として捉えようとしている生徒がいることもわかった。

### (3) 指導観

目の前にいる子どもたちが平和な社会や世界を築いていくためには、平和学習を通して何を学ばせたいのか。唯一の被爆国の日本において、被爆者の平均年齢は85歳を超え、体験者が直接語ることができる未来はそう長くない。そんな状況において、戦争や被爆のことを後世に伝えていく役割を担うのは、非体験者である。そして、非体験者が大切にしなければならないことは、「想像力」と「平和を希求する思い」である。

平和学習では、被爆者の証言などから当時の状況を想像することが大切である。非体験者だからこそ、当時に思いをはせ、戦時下の絶望的な状況を想像しなければならない。その想像する過程を経ることで、「平和の尊さ」や「家族愛」、「受け継がれてきた様々な思い」を知ることができ、「平和を希求する思い」につながっていくものだと考える。また、生徒の実態から、日本の戦争被害が記憶として強く残っていることから、日本の戦争加害についても焦点をあてたい。双方から戦争について捉えることで多面的に考える機会としたい。

一方で、戦争の歴史や現在の世界情勢を学習すると、どこか自分から遠い出来事として捉えてしまう場合がある。そこで、今年の平和式典の子ども代表スピーチを視聴したり、高校生平和大使を招き話を聞いたりして、自分事として捉え行動を起こそうとする姿に触れ、生徒たちの内面を揺さぶりたい。また、戦争体験者の「いつまにか戦争が始まった。」という証言にも触れ、現在の世界情勢も同様であることを伝え、他人事として遠い国の話として捉えてよいかを投げかけたい。

#### ・ 本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

公平性…戦争や紛争状態にある国の人たちは、世界の関心が薄れていけばいくほど孤立していく。一部の人たちだけが安心して過ごせる世界ではなく、誰もが安心して過ごすことができる世界を求める必要がある。

連携性…平和な世界は、関心が高い人や一部の国や民族、宗教に関係ある人たちだけが求めるわけではなく、国や民族、宗教を越え、手を取り合って世界平和を希求していくことが大切である。

責任性…平和な世界を創造していくためには、一部の国や民族、宗教の問題として捉えたり責任を負わせたりするのではなく、私たち一人ひとりが世界平和の担い手であることを自覚し、責任ある言動をとることが大切である

#### ・ 本学習で育てたい ESD の資質・能力

##### 他者と協力する態度

一人で出来ることは限られているが、他者と協力することには実現可能な力があることを自覚し、様々な課題に対して他者と協力しながら解決を図ろうとする。

##### つながりを尊重する態度

様々な人たちの温かい思いやつながりが平和な世界につながっていくことを自覚し、過去や現在、未来のつながりを大切にする。

##### 進んで参加する態度

平和のために日常生活の中で自分にできることはないかと考える。また、世界情勢に関心を持つようとする。

#### ・ 本学習で変容を促す ESD の価値観

##### 世代間の公正

自分たちの世代だけではなく、後世にも平和な世界を引き継ぐことが大切である。

##### 人権・文化を尊重する。

戦争は最大の人権侵害であることを自覚し、平和な世界に向けて努めなくてはならない。

##### 幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

誰もが自分の日常生活において平和 (安心安全) であることが希望であり、平和な世界につながる道である。

#### ・ 達成が期待される SDGs

10 不平等解消

16 平和・公正

#### 4. 単元の評価規準

観点別評価を行わずに、本校の総合的な学習の時間の観点『①主体性②課題をつかむ力③探求する力④表現する力⑤実践する力⑥人との関わり』と照らし合わせ、学習や生活の様子、ワークシートの記述などから評価する。

## 5. 単元の指導計画（全8時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価
1次	<p>○事前アンケートの結果をもとに平和学習の見通しと目標をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学6年生の長崎への修学旅行の学習を復習する。</li> <li>・広島、長崎に原爆が落とされた日時を確認する。</li> <li>・戦争体験が風化している状況を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入時にパリオリンピックの馬術について触れ、92年前に金メダルを獲得した選手がいたことを紹介する。また、その選手は徴兵され、戦死していることにも触れる。</li> <li>・事前アンケートの結果を提示し、その結果についてどう思うか問う。</li> </ul>	<p>観察</p> <p>①②</p>
2次	<p>○広島と長崎に原爆が落とされた要因について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして広島と長崎に原爆が落とされたのだろうか？</li> <li>・なぜ広島と長崎で異なる原爆が使われたのだろうか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の地図の提示</li> <li>・真珠湾攻撃で使用された魚雷製造した場所があった。</li> <li>・異なる2つの原爆の構造や威力について伝える。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>①③④</p>
3次 (2時間)	<p>○原爆という核兵器を使用されたことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原爆が落とされたことについてどう思うか？</li> <li>・どうして核を使う必要があったのだろうか？</li> <li>・被爆者の方が「原爆が落とされてよかった」と語ったのは、なぜだろう？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被爆者立川裕子さんの日記やパネルを紹介し、当時の被害状況を考えさせる。</li> <li>・「原爆が落とされてよかった。」という被爆者の証言を伝え、日本の戦争加害にも触れる。</li> <li>・平和な世界を実現するためには、戦争を多面的に捉える必要がある。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>①③④</p>
4次 (2時間)	<p>○平和式典の子ども代表スピーチを視聴したり、高校生平和大使の話を聞いたりして、平和と戦争について考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界情勢は、自分たちも含まれていることに触れる。</li> <li>・現存する核弾頭の数の提示。</li> <li>・自分事として捉え行動する視点を持たせる。</li> <li>・日本被団協ノーベル平和賞受賞に触れ、核なき世界に向けて運動している人たちを伝える。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>①②③⑥</p>
5次 (2時間)	<p>○自分たちにできることを考え伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の考えを、自分たちの生活の平和を構築するという視点と戦争をしない国や世界づくりという視点に分ける。</li> <li>・微力だけど無力ではないこと。</li> </ul>	<p>ワークシート</p> <p>①④⑤⑥</p>